

令和 6 年 3 月 4 日  
被災者支援・復旧復興本部

## 氷見市被災者支援・復旧復興ロードマップについて

被災した市民の生活再建やインフラの復旧、市内産業の復興に中長期的な視点を持って網羅的に取り組むとともに、市民や市内事業者の安心した暮らしや事業活動に向けた取組みを後押しするため、班ごと（①くらし生活再建、②公共インフラ再構築、③地域産業再生、④情報収集・広報）に取り組むべき事項を整理した「被災者支援・復旧復興ロードマップ」を作成することとし、今回、骨子案を次のとおり取りまとめたもの。

### 1 基本的な考え方

- ・ 甚大かつ多岐にわたる「令和 6 年能登半島地震」による被害から一日も早い復旧・復興が実現できるよう、ロードマップの作成を通じた取組みの全体像や時間軸の「見える化」により、市民や市内事業者の安心した暮らしや事業活動に向けた取組みを後押しする。
- ・ 本ロードマップの策定・実行に当たっては、県の取組みとの整合を図りつつ、被災地区の課題・ニーズをきめ細かく捉えて随時更新することを大前提とし、
  - ① 市役所が一丸となりスピード感をもって最優先に取り組む
  - ② 復旧・復興のフェーズごと、機動的・弾力的に対応する
  - ③ 国や県、関係機関等と連携し、④市の強靱化と中長期的な発展へと結びつける。

### 2 被災者支援、復旧・復興に向けた柱と対応項目別紙のとおり

### 3 今後のスケジュール

- ・ 4 月上旬           ロードマップの中間とりまとめ
- ・ 4 月中旬以降     状況に応じて適宜見直し